

次期愛知県地域保健医療計画策定における2次医療圏の設定について

1 第1回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議について

(1) 概要

第1回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議（令和4年10月7日（金）開催、以下「第1回推進会議」という。）において、東三河北部医療圏の見直しについて意見聴取を行った。

＜国の次期医療計画作成指針の検討状況＞

既設の2次医療圏が、入院に係る医療を提供する一体の圏域として成り立っていない場合は、その見直しについて検討することとする。その基準は第7次医療計画における考え方を踏襲し、見直しを行わない場合においてはその理由（地理的条件、面積、交通アクセス等）を明記することとする。

（厚生労働省 令和4年12月9日「第20回第8次医療計画等に関する検討会」抜粋）

【第7次医療計画作成指針抜粋】

人口規模が20万人未満の2次医療圏については、入院に係る医療を提供する一体の区域として成り立っていないと考えられる場合（特に、流入入院患者割合が20%未満であり、流出入院患者割合が20%以上である場合）、その設定の見直しについて検討する。

＜2次医療圏の状況＞

2次医療圏	人口(人)	流入患者	流出患者	基準病床数 (H30～R5年度)	既存病床数 (R4.9.30現在)	その他
名古屋・尾張中部	2,494,926	名古屋 21.2% 尾張中部 52.6% (19.4)	名古屋 16.2% 尾張中部 66.6% (16.0)	17,911床	20,681床	地域医療構想区域、老人福祉圏域、障害保健福祉圏域、は、2次医療圏に同じ
海 部	322,057	28.1% (28.8)	44.8% (41.7)	1,531床	1,860床	
尾張東部	476,518	58.7% (56.9)	33.9% (34.6)	4,141床	4,358床	
尾張西部	509,319	22.3% (20.1)	22.4% (17.3)	3,357床	3,601床	
尾張北部	729,710	27.7% (25.2)	24.0% (21.6)	4,725床	5,030床	
知多半島	622,067	11.9% (13.2)	32.5% (33.5)	3,147床	3,188床	
西三河北部	479,412	23.2% (16.1)	23.1% (20.8)	2,252床	2,804床	
西三河南部東	425,464	19.7% (23.2)	28.6% (23.0)	2,083床	2,477床	
西三河南部西	699,022	23.4% (23.8)	25.2% (24.2)	4,263床	4,668床	
東三河北部	50,743	16.0% (7.1)	56.2% (51.7)	229床	417床	
東三河南部	688,283	11.2% (11.0)	7.8% (8.2)	4,139床	6,463床	

※人口は、令和4年10月1日現在（愛知県県民文化局「あいちの人口」）

流出入患者の割合は、厚生労働省平成29年度患者調査（（）は令和2年度調査）

(2) 委員からの主な意見

東三河北部医療圏の見直しについて、「広大な面積の地域である」、「医療圏の統合によりべき地問題など地域の課題が埋没する」など反対意見が多數であった。(詳細は資料 1-2 参照)

2 医療提供体制に係る協議の必要性について

東三河北部医療圏は、多くの入院患者が東三河南部医療圏へ流出している状況である。地域住民に対して、適切な医療提供体制を構築するためには、早急に流出入院患者が最も多い東三河南部医療圏と救急医療など医療提供体制に係る協議の場を設け、医療機関間の緊密な連携を図っていく必要がある。

3 今後のスケジュール（予定）

第2回推進会議において、東三河北部医療圏の見直しについて、圏域の意見を取りまとめ、**令和5年2月15日開催の第2回医療審議会医療体制部会**で次期医療計画における2次医療圏の設定について議題として提案を行う。

<2次医療圏設定におけるスケジュール（予定）>

令和5年1月23日 第2回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議
(圏域意見取りまとめ)

2月15日 第2回医療審議会医療体制部会

(2月15日 第2回東三河南部圏域保健医療福祉推進会議)

3月29日 第2回医療審議会

<現行の2次医療圏>

